

令和8年度文京区立関口台町小学校 学校経営方針

文京区立関口台町小学校長 四家 薫

○東京都の教育目標

- ・互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ・社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ・自ら学び行動する、個性と創造力豊かな人間

教育目標

よく考えてやりぬこう
なかよく助け合おう
つよい心とからだをつくろう

○文京区の教育目標

- 「個が輝き共に生きる文京の教育」
- ・心身ともに健やかで、自他を尊重し、人間性豊かにたくましく生きる人
 - ・自ら学び考え、表現して行動する人
 - ・社会の一員として広い視野をもち、日本の将来を担う人
 - ・地域を愛し共に生きる社会を築く人

目指す学校像

「やってみたい」「やってみよう」「やってよかった」がたくさん生まれる学校

○自他のよさや可能性を見出だすことができる ○挑戦する気持ちを大切にする ○失敗してもやり直せる

重点目標・基本方針

確かな学力の育成

○わかる・できる・楽しい授業の実施

- ・基礎基本の定着を図り、学習の土台となる確かな知識を身に付けさせる。
- ・協働的な学びの中で、児童が当事者意識をもって自分の考えを形成し、対話と合意を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。（主体的・対話的で深い学びの実現）
- ・多様な児童の実態を踏まえた学習形態を工夫する。

○ICT機器の日常的な活用

- ・一人一台端末やデジタル教材を効果的に活用し、個別最適な学びと協働学習の充実を図る。

健康・体力の増進

○基本的生活習慣の確立と健康教育の充実

- ・体育の授業や保健指導、食育を通して、健康づくり、体力づくりの基礎知識と実践力を身に付けさせる。
- ・体力テストの結果を踏まえ、意図的・計画的な体育の授業実践を行う。体力向上推進プランに基づき、各学年の課題克服に向けて、授業改善に積極的に取り組む。

特別支援教育の推進

○誰一人取り残さない教育

- ・個々の特性に配慮し、教室環境を整備したり、学習課題に柔軟性をもたせたりして、学習場面で生じる不適應の原因について軽減を図る。（ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくり）

○インクルーシブ教育の推進

- ・特別支援学級（知的）と特別支援教室の円滑な運営を通じて、個々のニーズに応じた適切な支援（合理的配慮）を行い、全ての児童が安心して自分らしさを発揮できる居場所を確保する。

豊かな心を育てる教育の推進

○望ましい対人関係の構築

- ・相手意識をもって行動できる児童の育成を目指し、気持ちの良い挨拶と返事、全身で人の話を聞くことを当たり前のこととして身に付けさせる。
- ・特別活動を中心とする日々の教育活動を通して、集団の一員としての役割や責任について自覚させ、他者の役に立つことや友達と協力してものごとを成し遂げる喜びを味わわせる。

○人権教育の推進と「考え議論する」道徳授業の充実

- ・自他の違いや多様性を認め合い、いじめのない学校生活を送ることができるようにする。
- ・失敗しても大丈夫という雰囲気づくりと困った時に適切にSOSが出せるようにする
- ・善悪の判断や自分自身の気持ちをコントロールすることができ、困難に直面しても前向きに乗り越えようとする力を養わせる。

安全教育の推進

○安全指導の充実

- ・安全教育プログラムや防災ノート等を十分に活用し、安全についての児童一人一人の意識向上を図り、事故防止に対する理解の定着と実践力を身に付けさせる。
- ・児童の危険回避能力や行動選択能力の向上を目指した実効性のある安全指導や避難訓練を行う。

保護者・地域との連携

○開かれた学校づくり

- ・学校の見える化を図る。⇒積極的な情報発信
- ・地域人材や場所を活用した教育活動を推進する。

○保幼小中の連携・接続

- ・同じ地区の保育園・幼稚園・中学校との連携を円滑に行い、小1プロブレムや中1ギャップ等の課題に適切に対応する。

子供たちの成長を支える「チーム関口台町小学校」の教職員

- 児童の「できない・分からない」を肯定的にとらえ一人一人の成長に貢献する
- 常に児童の手本となる
- 前例踏襲ではなく自らが工夫し変化し続ける
- 児童・保護者に信頼される
- いつでも笑顔で接する